チームワークで長く働ける職場づくり

足立・有馬小児科神経内科

〒861−8038
熊本市東区長嶺東4丁目2番1号
TEL 096−349−1717
FAX 096−349−1718

- ●代表者／足立　尚登（院長）
- ●業　種／医療機関
- ●従業員／18名
- ●事業概要／小児科、内科、神経内科、リハビリテーション科

【http://www.adachi-arima-clinic.com/】

アピールポイント

1 職場全体で仕事を助け合い

当院は小児科、内科、神経内科、リハビリテーション科があり、看護師はローテーションで毎日担当科が変わります。看護師ばかりでなく全職員が各科の業務を把握し、職場全体で助け合えるようにしています。そのため休みが取りやすく、職員の休みの希望を優先しています。

2 子どもの病気は当院で対応

職員の子どもが病気になったときは当院で対応しています。病気の相談なども院長が受けています。子どもの急な病気のときは休みが取れるようになっています。

3 キャリアアップの推進

院外の研修などに参加したい希望があれば、勤務時間を配慮しています。キャリアアップの資格取得についても積極的に推進しています。

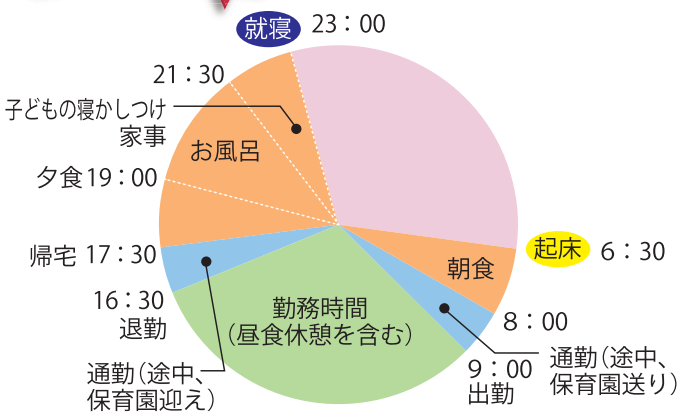
職員の声

看護師
愛垣　未有希 さん

先輩に育児休業を取って復帰された方がおられたので、私もそうできたらいいなと思っていました。妊娠したとき、その先輩にいろいろアドバイスしてもらいました。現在は短時間勤務で、4歳と1歳の男の子を育てています。

職場に子育てしている人が何人もいるので、お互い様という感じで、子どもが病気をしても気兼ねなく休めます。子どもが入院し長期間休んだときも、職場は忙しかったでしょうけれども、反対に「大変だったね」と言っていただきました。子育てに悩んだときも先輩方に相談できるのでとても助かっています。

1日のスケジュール



Interview

副院長　足立　桂子さん

当院は小児科、内科、神経内科、リハビリテーション科があり、赤ちゃんからお年寄りまでの一生を診ています。

そのため出産や育児の経験は、看護師や介護士、事務の仕事において、患者さんに接する上でとても大事だと思います。また育児の経験があると、子どもとの接し方が上手ですし、子の親も相談しやすいようです。

当院としても、出産したら復職していただき、長く働き続けていただくと助かります。そうしていただけるように働きやすい職場づくりに取り組んでいます。